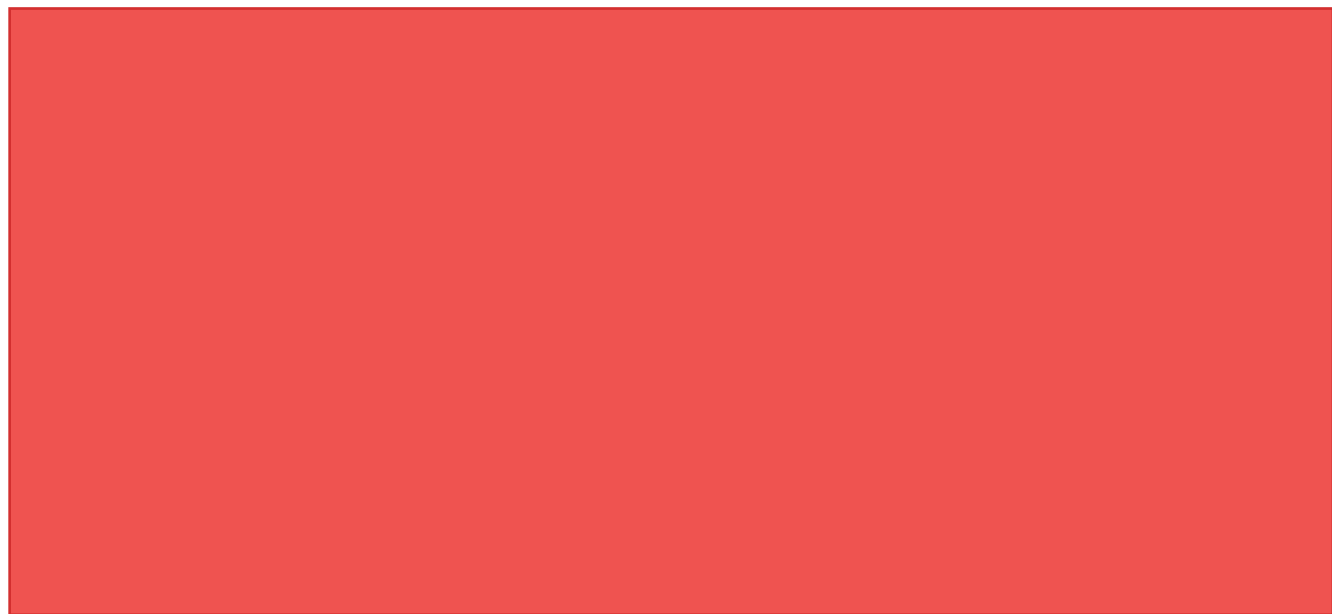


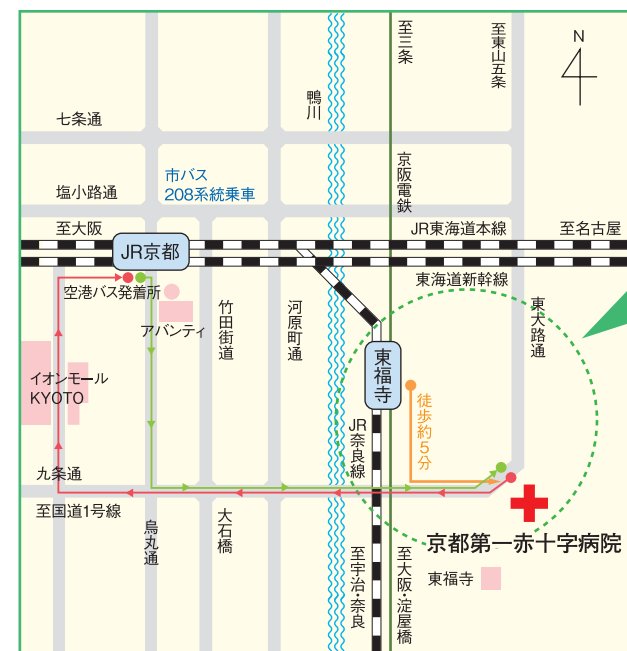


年賀状の
廃止についてのご連絡

平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
当院では、昨今の時勢を鑑み、すべての方々への暑中見舞い及び年始のご挨拶を廃止させていただくことと致しました。併せて、当院への暑中及び年賀状のお気遣いにつきましても辞退させていただきたく存じます。
誠に勝手ではございますが、今後とも変わらぬご厚情を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

Access to Japanese Red Cross Kyoto Daiichi Hospital

当院へのアクセス



電車をご利用の場合
JR奈良線、京阪電鉄…「東福寺」駅下車、徒歩5分

バスをご利用の場合
市バス202、207、208系統「東福寺」バス停で下車

車をご利用の場合
【奈良、大阪方面から】…京都南IC出口、国道1号線を北へ約2.5キロ京阪国道口を東(右折)へ、九条通りを約2.5キロ
【山科、天津方面から】…国道1号線を西進、東山五条交差点を南(左折)へ、東大路通りを約2キロ
【京都駅付近から】…竹田街道を南へ約500メートル、大石橋交差点を東(左折)へ九条通りを約500メートル

無料シャトルタクシー運行のご案内[JR京都駅八条口⇨病院(地下鉄九条駅経由)]

	八条口発 病院行き	病院発 八条口行き
始発便	7:45 次発 8:10.以降30分間隔で運行	9:00 以降30分間隔で運行
最終便	16:10	16:00

※12:40八条口発の便は運行しておりません。 ※12:30病院発の便は運行しておりません。
※交通状況により時刻に遅れが生じる場合があります。
※運行は平日のみとなります。土・日・祝日等病院の休診日は運行いたしません。
※定員9名のため満員の場合は次の便をご利用ください。



京都第一赤十字病院

日本赤十字社

人間を救うのは、人間だ。 Our world. Your move.

京都第一赤十字病院
きよとだいちじふしやうびやういん

人道と奉仕の赤十字精神に基づき、
患者さまにとって安心できる
適切な医療を行ないます。

秋号
2022年10月発行
vol.85

Content

- 就任のご挨拶 2, 3
- 産婦人科のご紹介 4, 5
- 精神科(心療内科)のご紹介 6
- オンラインカンファレンス実施しています 7
- 年賀状の廃止についてのご連絡 8

平素より大変お世話になり誠にありがとうございます。昨年夏にご挨拶させていただいた時には、年度末くらいでコロナ感染症が収束するかと考えておりましたが、残念ながらいつまで経っても収束する気配がありません。ウイルスは増殖のために変異を繰り返すため致し方ないこととは思いますが、いつまで続くのかは未だ見えない状況かと思っています。当院も重症患者を中心に積極的にコロナ対応を行っており、職員にもかなりの負担がかかっておりますが、引き続き頑張って対応していきたいと思っています。また、異常気象による水害が益々増加しているように思います。水害が起こるたびに「想定外、今までこのようなことがなかった」との

話が出ていますが、今後はそれでは済まされないような状況になっているかと思っています。我々赤十字も災害が起こったときに、DMAT中心に対応しておりますが、まずは水害が起こらないようにすることが重要かと思っています。病院が医療安全を保つためにKYTなどを行うように、国にもそういった対応を望みたいと思います。社会全体の問題も山積ではありますが、当院としては、今後も患者さん中心の医療を行っていききたいと思います。職員全員が目標をもって良い病院にしていきたいと思っておりますので、引き続きご指導ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

副院長 塩飽 保博

就任のご挨拶

事務部長 | 綾城 義治

Yoshiharu Ayashiro

令和4年5月1日付けで事務部長を拝命いたしました綾城でございます。

連携医療機関の皆様には、平素たいへんお世話になっておりますことに心からお礼申し上げます。

このたび、歴史ある京都第一赤十字病院の一員として働かせていただくことになり、たいへんうれしく思いますとともに、事務部長という責任の重大さに身の引き締まる思いであります。

私は本年4月末に長年勤務した京都府庁を退職いたしました。府庁時代は農業をはじめ観光、雇用などの産業行政や、地域づくりなどに携わってまいりました。こうした分野でお世話になりました皆様にあたためてお礼申し上げます。

悲しいかな病院をはじめ医療分野での勤務経験はありません。戸惑うことばかりですが、新たな出会いと知識の習得に青年のごとく心弾む日々であります。先輩から受け継いだ皆様方とのご縁を大切に、コロナ感染症により何かと制約が多い中でありますが、機会をとらえて親しくお話させていただければと願っております。

少子高齢化をはじめ医療・介護・福祉を取り巻く環境が一段と厳しさを増す中にあって、当院といたしましては、住民のみなさんを医療・健康面で支えし地域に信頼される「最高の基幹病院」を目指しているところです。甚だ微力ではありますが私自身も精一杯役割を果たしていきたいと考えておりますので、皆様におかれましてはご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



産婦人科／副部長 | 松本 真理子

Mariko Matsumoto

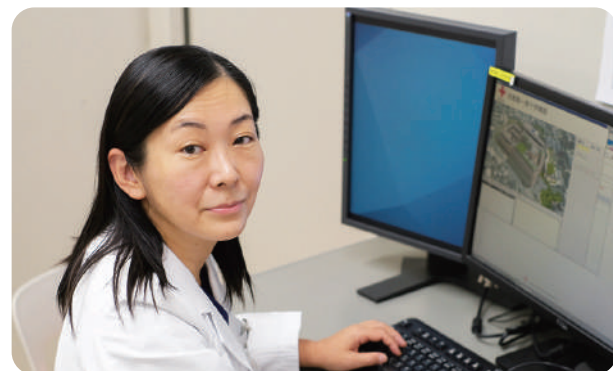
この度産婦人科副部長を拝命いたしました松本真理子です。2003年に京都府立医科大学を卒業し、同産婦人科に入局、臨床一筋に多くの関連病院で勤務・研鑽後、2014年より京都第一赤十字病院へ赴任、本年で8年目となります。

当院産科は、京都府で最も歴史のある総合周産期センターとして、早産・産科疾患・合併症妊娠・産褥出血など様々な疾患に対応しています。新生児科、麻酔科、救急科、放射線科、内科、外科といった他科と垣根なく連携し、病院一丸となり迅速かつ的確な診療を心がけています。また、妊婦さんのニーズに応えるべく無痛分娩も開始予定です。地域の先生方と患者様に

選ばれる産科であり続けるべく、質の高い産科医療を提供できる体制づくりのお手伝いをしていきたいと思っております。

婦人科は、悪性腫瘍、筋腫などの良性疾患、子宮脱など積極的に手術を行っております。ロボット支援下手術、腹腔鏡手術、子宮鏡手術といった内視鏡手術を中心に据えてますが、腔式手術や子宮筋腫の動脈塞栓術など様々な治療選択肢の中から、患者様に合わせた最良の治療を提供するよう心がけております。当科の医員は皆手術が好きであり、技術を向上させるべく研鑽を積んでおります。今後も症例をご紹介いただけたら嬉しく思います。

皆様に安心して患者さんを任せいただける医療を提供できるよう日々精進してまいります。今後ともご指導、ご鞭撻を宜しく願いたします。



【卒業年】 平成15年
【認定医・専門等資格名】
臨床遺伝専門医
日本産科婦人科学会産婦人科専門医・指導医
日本周産期・新生児医学会周産期専門医(胎児・母体)
女性ヘルスケア専門医、母体保護法指定医

救急科 救命病棟部長／救命救急センター 副センター長

堀口 真仁

Masahito Horiguchi

このたび、救急科 救命病棟部長を拝命いたしました堀口真仁です。どうぞよろしくお願いいたします。

私は1999年に京都大学医学部を卒業後、同附属病院、日本赤十字社和歌山医療センターで内科、救急・集中治療の修練を積みしました。京都大学大学院医学研究科で学位を得たのち、アメリカへの留学を経て2015年より前橋赤十字病院で勤務し、ドクターヘリなど病院前救急を含む高度救命救急センターでの診療経験を積んでまいりました。2017年より当院に着任し、地元京都の救急医療に携わっております。

当救命センターの診療内容は多岐にわたりますが、4本の柱として「救急外来」「集中治療」「災害医療」「病院前救急」を掲げております。特に地域のみなさまから期待されているのは、24時間対応しております救急外来部門ではないでしょうか。自力で来院される患者さんから、救急車やドクターヘリで搬送される患者さんまで「全次救急」受け入れております。地

域の先生方から当院の専門診療科へ御紹介頂いた患者さんも、病状によっては救急外来で初期診療を開始して対応できるようにしております。重症の患者さんは救急集中治療室及び救命救急病棟にて、専門診療科と連携して治療にあたり、早期の回復を目指しております。昨今のコロナ禍では重症COVID-19症例の診療も行い、人工呼吸器やECMOの管理体制を整えております。

今後は、診療水準の維持・向上、近隣の医療機関のみなさまや救急隊との連携強化、未来を担う若手医師の育成等にも注力し、地域のみなさまの安心に貢献したいと存じます。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



【卒業年】 平成11年
【認定医・専門等資格名】
日本救急医学会救急科専門医
日本集中治療医学会集中治療専門医
日本循環器学会循環器専門医
日本内科学会総合内科専門医





産婦人科部長
大久保 智治

産婦人科のご紹介

～ 京都府下一の産婦人科を目指して～

原則全例受入れの方針です。お困りの際はご連絡ください。

京一産婦人科ホットライン

※必ず医師からお電話ください



● 婦人科疾患

婦人科悪性・良性腫瘍、骨盤臓器脱、子宮内膜症、婦人科感染症、婦人科細胞診異常等々、すべての婦人科疾患にももちろん対応しています。右記①の表が昨年一年間の主な疾患の症例数です。京都府下ではどこにも見劣りすることのない数字だと思います。

遺伝外来では出生前診断や悪性腫瘍の補助診断も行い高度な医療を常に提供出来るよう精進しています。不妊診療も保険収載とともに開始いたしました。無痛分娩もやっと開始にこぎつけましたのでご希望の際は一声おかけください。

以下の10名の産婦人科医師および助産師、看護師チームで患者さんに対応できることに感謝しながら真摯に対応しています。どうかよろしくお願い申し上げます。

大久保智治 松本真理子 高岡幸 明石京子 川俣まり 山田惇史
赤澤美保 太田早希 小嶋哲 細田尚哉

ロボット手術	22
腹腔鏡手術	219
子宮鏡手術	22
子宮頸癌手術	8
子宮体癌手術	24
卵巣癌手術	25
円錐切除術	54
子宮脱手術	24
子宮動脈塞栓術	12
化学放射線療法	7

①表

● 周産期

当科は常に京都府下一の産婦人科を目指しております。また京都府下で最初に指定された京都府総合周産期母子医療センターのため、府下の周産期救急搬送症例全例のコーディネートを担当しています。COVID-19陽性妊婦はもちろん、その他妊娠高血圧症候群、切迫早産、多胎、前置胎盤、常位胎盤早期剥離、産科危機的出血等々の周産期に関連する疾患をすべて網羅して対応しています。原則、全例受け入れの方針としています。もちろん様々な理由でどうしても受け入れられないケースは他のセンターの先生方をお願いしています。周産期に限らず、異所性妊娠、卵巣嚢腫捻転等の婦人科救急疾患も全例受け入れ方針としていますので、それらを疑う症例でお困りの際は上記のホットラインに遠慮なくご連絡ください。



COVID-19陽性妊婦専用の分娩台

総分娩数	486
帝王切開数	161
双胎分娩(品胎分娩)	58(3)

外来担当表 / 産婦人科

	月	火	水	木	金
一般	大久保	松本	明石	高岡	川俣(1・3・5週) 山田(2・4週)
	高岡	明石	山田	大久保	太田
妊婦健診	川俣	高岡	松本	山田	明石
	小嶋	太田	志村	松本(1・3・5週) 川俣(2・4週)	—
出生前診断	—	—	松本(午後)	松本(午後)	—

※婦人科(産科を除く)は完全予約制です



精神科（心療内科）のご紹介

精神科（心療内科）部長
名越 泰秀

Yasuhide Nagoshi

身体表現性障害に
力を入れています



写真 精神科（心療内科）スタッフ
（前列左から：藤澤医長、名越部長、北島医師／後列左端：小川心理士、後列右端：岡本心理士）

平素より大変お世話になっております。この場をお借りして御礼申し上げます。

当科は現在、常勤スタッフ5名（医師3名、心理士2名）という比較的恵まれた体制で診療にあたっています。

患者層は幅広いですが、総合病院であることから、統合失調症が少なく、神経症圏や器質性の疾患が多いのが特徴です。

神経症圏においては、難治性で精神科医からも忌避されることの多い身体表現性障害（身体症状症や心気症）に力を入れています。薬物療法をはじめ種々の治療的工夫を続けており、我が国の学術活動もけん引する立場で^{1,2)}、国内トップの治療成績を誇っています³⁾。器質的な原因がない身体症状を呈する症例はぜひご紹介下さい。ただし、当科は精神科であり、身体的な精査は行いませんので、その点をご了承下さい。

また、近年増加中の適応障害は、安易なうつ病診断に基づく休職や薬物療法が行われている風潮があり、その

結果生じる遷延化や休職の長期化が問題になっていますが、当科では病態を見極め的確な対応や治療を行うように心がけております。必要時は心理士によるカウンセリングも実施しています。

認知症をはじめとする器質性精神障害に対しては、CT、MRI、SPECT、DaTSCANなどの画像検査や心理士による詳細な認知機能検査が行える利点を生かし、きめ細やかな診療を行っています。

院内においては、せん妄に対して、コンサルテーション・リエゾンとしての対応に加え、病院全体としての予防や治療のシステム作りを行っています。その一つとして、せん妄リスクのある睡眠薬を院内採用から削除する試みを行っています。このため、先生方にはご迷惑をおかけすることもあるかと存じますが、何卒ご理解いただけますと幸いです。

今後も地域の中核病院の精神科として努力してまいりますので、よろしくお願いします。

- 1) 名越泰秀, 身体症状症および関連症群（身体表現性障害）の薬物療法はどこまで可能になったのか? 心身医学 59:554-559, 2019
- 2) 名越泰秀, 身体症状症への薬物療法の進歩と課題, 精神医学62:1613-1621, 2020
- 3) 小川奈保 他, 身体症状症の治療転帰—外来患者の1年間の治療経過から—, 心身医学 (in press)

病診予約担当表

	月	火	水	木	金
一診	—	名越	北島	名越	名越
二診	北島	北島	藤澤	藤澤	北島(2・4週)

online conference

Motoko Seto

オンライン カンファレンス 実施して います

入退院管理室 師長

瀬戸 素子



平素より医療連携で大変お世話になりありがとうございます。

2020年2月に新型コロナウイルス感染症が流行し、今年で3年目を迎えます。当院では今年9月まで全病棟面会禁止とさせていただいており、家族の面会や退院前カンファレンス、介護保険訪問調査等が対面で行えない状態が続いておりました。かかりつけ医や訪問看護師、ケアマネージャー等在宅療養を担う方々には多大なご迷惑をおかけしておりました。

2020年12月からZOOMを取り入れた退院前カンファレンスを実施しており、開催件数も増加傾向にあります。開始当初はZOOMに不慣れなスタッフやWi-Fi環境の不具合もありましたが、現在は改善されておりスムーズに退院前カンファレンスを開催することができております。

コロナウイルス感染症の終息はまだ見えてきませんが、患者様が地域で暮らし続けるために患者様・家族様の意向に沿って在宅療養が安定するための支援を病院と在宅のチームで連携・協働していくことを目指して日々精進して参ります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



2021年度オンライン会議開催件数

